短期研修報告書

獣医学群 獣医学類 1年 間所千晶



勉強面

日本で事前にプレイスメンテストを受けました。プレイスメンテストは主にリスニングやライティング, スピーキングのテストで, その点数によってクラス分けがされていました。7 つのレベルに分かれており, それぞれのレベルに複数のクラスがありました。クラスにもよりますが, 私のクラスは約 20 人で, 半分ほどが日本人でした。

教科書は3冊あり、1つ目は短い文章を読み内容をとらえる練習、2つ目はリスニングの練習、3つ目は小説を読む練習をするためのものでした。また、英語の授業では、文章を読み、趣旨をつかみ、要約するということを練習しました。宿題には、インターネットや新聞から英語の記事を探し、それを要約し、クラスでプレゼンをするというものが出ました。また、4人から5人のグループになりディスカッションをしたり、先生が質問をし、それに対して生徒が自由に発言をしたりすることもありました。皆とても積極的に発言をしており、自分も躊躇することなく発言できるようになりたいと感じました。私が発言する際、自分の意見とその理由を述べなくてはなりませんが、私は理由を述べるのが苦手でした。しかし、先生や他の生徒が私に質問をすることにより、何を説明すると分かりやすいのかを理解することができ、改善に繋げることができました。また、発言をする時、文法などが間違っていると、先生がその都度教えてくださったため良い勉強となりました。今回は夏休みということもあり、日本人留学生も多く、クラスの半分ほどが日本人だったため、日本語を話す機会が多く少し残念でした。

クラスにより異なりますが、私のクラスは宿題が多く、午後にアクティビティがあるときは、 とても忙しかったです。



ブラジル, リビア, 中国, 韓国, ベトナムから来た生徒がいました。

皆積極的に発言をしており、また論理的に発言をしていたので、良い刺激となりました。 私も、論理的に意見を組み立てられるよう、練習を積む必要があると思いました。

また、日本人には質問をすることが恥ずかしいと感じる人が多いため、改善すべき点だと思います。日本は先生の説明を静かに聞くということが中心ですが、授業の中でもっと 先生とコミュニケーションをとることが大切だと思いました。大学だけでなく、小学校から 教育の仕方を変える必要があると思います。

ホストファミリーに高校生の女の子がいたのですが、高校でも授業でプレゼンテーションを行う期会が多く、教育の仕方がかなり違うということを知りました。

文化面

カナダは多文化主義の国であり、色々な国の人々が住んでいます。英語のクラスの生徒や近所の人たちは本当に様々な国から来ています。皆英語を話しているのですが、それぞれの訛りを含んでおり、理解することは難しかったのですが、面白かったです。日本人の方が営業している店もあり、日本語を見かけることもしばしばありました。日本食が予想以上に浸透しており、寿司屋はどこでも見かけましたし、インスタントの味噌汁や醤油などがホストファミリーの家にあり、驚きと嬉しさを感じました。ヨーロッパに行った時のように日本人が浮くことはなく、すぐに生活環境に馴染むことが可能でした。人種という隔たりがなく、皆がお互いのことを受け入れていることが伝わってきました。そのためか、カナダらしい文化というものはあまりないような気がしました。多文化の国は人種の隔たりがなく、とても魅力的ですが、自国の文化がある国はそれを大切にすべきだと感じました。

また、エドモントンにある「Fort Edmonton Park」という歴史博物館では、カナダの歴史を学んだのですが、日本の歴史の長さを改めて感じました。日本の文化はその長い年月をかけて作り上げられたということに気付かされ、文化は大切に守っていかなければならないと強く感じました。



ホストファミリーも時々お寿司を食べるようです。

日本と異なる文化も見つけることができました。ホストマザーの友人の家に食事をしに

行った時の話ですが、それぞれが食器に自分で盛り付けをして席に着くと、他の人を待つことなく食べ始めました。日本では、全ての人が揃うまで待ち、皆で「いただきます」をすることが文化だと思います。初めは驚きましたが、これが欧米様式のようです。ホストマザーは日本のスタイルを気に入ってくれたようでした。

カナダの人は多くの人が親切です。バスや電車などで、ベビーカーやお年寄りの方が乗ってくるとすぐに譲っていました。また、バスに乗るとき、バスの運転手の方が笑顔で「Hi」と言ってくれることが多く、こちらも自然と笑顔になりました。町の人同士でコミュニケーションがとれており、人と人の距離が近く、良いと思いました。

ホストファミリー

日本食を振舞おうと考えていたため、日本米2合と海苔、巻き簾、カレールーを持っていきました。カナダのお米は水気が少なく、お寿司を作るには不向きです。日本米は粘り気が強く、お寿司には本当に最適です。私のホストファミリーは炊飯器を持っていたため、お鍋で炊く必要がありませんでした。お鍋で炊かなければならないと身構えていたので、ほっとしました。巻き寿司の具はツナマヨと卵と胡瓜にしました。ツナの缶詰はカナダでも手に入ります。生の魚を買うのは困難だと思われます。スケジュールの後半は本当に忙しいので、前半にしておいて良かったと思いました。もう一度お寿司を作って欲しいと言われていたのですが、時間がなくできなかったため少し残念です。

カナダには缶詰のカレーは売っているようですが、カレールーはあまり身近ではないようでした。



ホストマザーも一緒に巻き寿司を作ってくれました。

ホストファミリーは 2 人でしたが、2 人とも仕事をしており、忙しそうでした。しかし、ホスト

マザーとは買い物に行ったり、ホストマザーの友人の家に連れて行って頂いたりしました。 また、町で行われていたフェスティバルや、ショッピング、観光のできる場所、そこまでの 行き方などを教えてもらい、友人と空いた時間に行きました。

ホストマザーはとても親切な方で、1か月間本当に快適に過ごすことができました。夕 食の時間はしっかりとは決まっておらず、食べたくなったら食べるという自由なスタイルで した。ホストマザーには、食べたいもの、行きたい場所、やりたいことなどを聞かれたので、 行く前に考えていくと良いと思います。

また、海外の人は Facebook をやっている人が多いので、予めアカウントを作ってからカナダに行くと良いと思います。







北米のスーパーマーケットは全てが大きいです。建物自体も大きいですが、食品も全て大きいです。冷凍食品が多く、一か月に 2 回ほどしか買い物をしないそうです。そのため、一回の買い物の量はとても多いです。

気候

夜は気温が 10 度を切るほど寒かったです。長袖と上に羽織るものを持っていく必要がありました。私は夏服を中心に持って行ったので、カナダで服を買うことになってしまいました。事前に気候はチェックするべきだったと反省しています。

治安

治安は良い方だと思いますが、場所によっては行きたくないと感じる場所もありました。 1 つの道の片側は賑わっていても、もう片側に渡ると治安が悪いと感じたこともありました。 た。

学校までは、バスと電車で通いましたが、基本的に安全です。

持って行って良かったもの

パスポートを首から掛けるケースを持っていくと良いです。普段はパスポートのコピーの みを持ち歩いていましたが、パスポート本体を持っていくときは、これがあると便利でし た。

その他のアクティビティ

酪農学園大学生向けのアクティビティが企画されており、動物の保護施設や動物園の裏側、馬の手術を見させていただきました。その他のアクティビティは、他の大学から来ていた日本人留学生と一緒に行動しました。

以下にアクティビティの一部を紹介します。

・カナディアンロッキー

カナディアンロッキーはとても美しい景色が沢山あり、とても感動しました。バスで片道約5時間という長旅でした。北海道の何倍もの広大な土地が広がっており、壮大で、悩みも吹き飛びそうなほど素晴らしい景色でした。3日間とも天気が良く、満喫することができました。日によっては雪が降ることもあるそうなので、それ相応のものも念のため持っていきました。

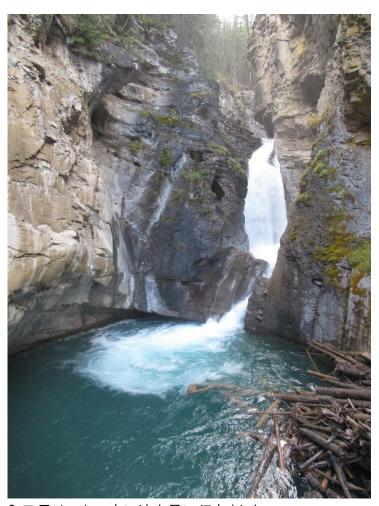




1日目は山に登り、湖を見に行きました。山は予想以上に急な坂を歩きました。



2日目は、Lake Louise にてカヌーを楽しみました。



3日目は、山の中に滝を見に行きました。

・馬の手術

最終日には、馬の手術を見学させていただきました。もともとアクティビティにはな かったのですが、計画されていたアクティビティの 1 つが取り止めになったため、その 埋め合わせとして計画されたものです。

馬専門の獣医がいるところで、様々な大きさの蹄鉄や、蹄用の治療道具などを見せていただきました。今後、進路を決めるときの材料の1つになると思います。とても 貴重な時間でした。



様々な大きさの蹄鉄が売られていました。



馬の蹄は人間の歯のように虫歯になることがあり、その治療のために使う道具です。





馬の手術を間近で見せていただきました。私にとって初めての手術見学でした。

最後に

今回の短期留学はとても有意義なものとなりました。自分の英会話能力にも手ごたえを感じました。カナダに着いた当初より、確実に英語が話せるようになったと思います。さらに英語が話せるようになりたいと思いました。そして、獣医学の専門科目を、留学して学びたいとより強く思いました。獣医学の専門科目を海外で学ぶために、専門単語も少しずつ英語で覚えるようにしていきたいです。

また,ネイティブの人達が良く使う表現は,日本の学校ではなかなか学ぶことができないので,本場に行ってこそ学べることだと思いました。

そして,他国の文化に触れることで,日本の文化の長所と短所がよく分かりました。そして,文化を守る必要性も実感することができました。

本当に楽しかったです。英語を勉強することの楽しさを感じました。また、広大な地と素晴らしい自然、人の温かさに触れることができました。この留学を無事終えることができ、カナダと日本でお世話になった全ての方に感謝しています。ありがとうございました。